

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)

## 愛称〔ネクスト・ジェネレーション〕

追加型投信／内外／株式

### 交付運用報告書

第3期(決算日2024年2月26日)

作成対象期間(2023年2月28日～2024年2月26日)

第3期末(2024年2月26日)	
基準価額	10,204円
純資産総額	2,296百万円
第3期	
騰落率	42.1%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。運用報告書(全体版)は、朝日ライフ アセットマネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページの「ファンド情報」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。

当ファンドは、日本を含む世界各国の株式を対象に、参入障壁の持続可能性、企業文化、構造的成長力、バリュエーションなどにに基づき、ボトムアップ・アプローチを通じて銘柄を厳選のうえ、30～50銘柄程度に集中投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。グローバル成長株運用等において評価の高い米国の運用会社であるWCMインベストメント・マネジメント・エルエルシーに運用を委託しています。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも、一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

#### 朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

東京都杉並区和泉一丁目22番19号

<お問い合わせ先>

ホームページ：<https://www.alamco.co.jp/>

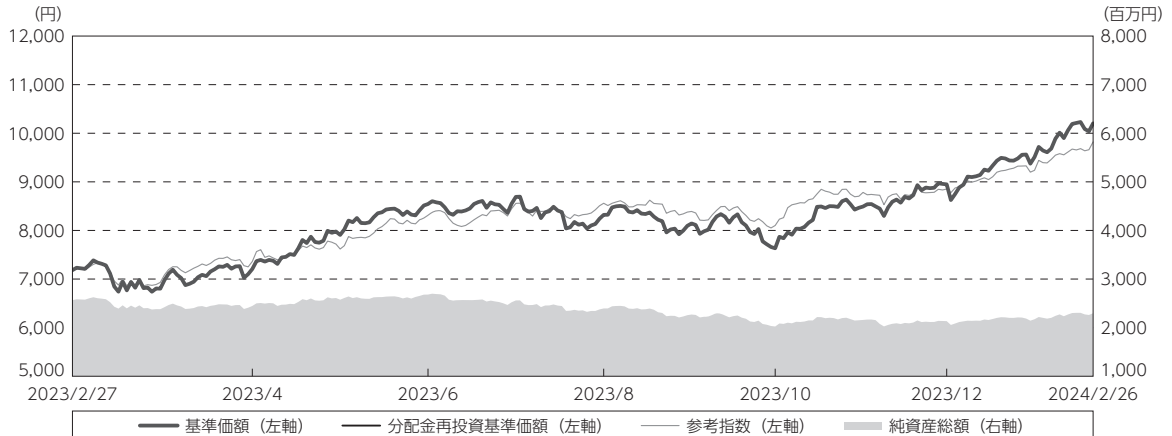
フリーダイヤル：0120-283-104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2023年2月28日～2024年2月26日)



期首：7,183円

期末：10,204円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：42.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当ファンドの設定日の前営業日を10,000として指数化しています(ただし設定日の前営業日は当日のMSCIを使用)。当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を使用しています。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

## ○基準価額の主な変動要因

主な上昇要因としては、米国における雇用・物価の落ち着きや利下げ観測の高まり、並びに予想を上回る企業決算の発表などが挙げられます。

主な下落要因としては、米国における強い経済指標の発表や、FRB(米連邦準備理事会)のタカ派的な政策金利見通し、並びに米国銀行等の経営不安や中東情勢の緊迫化などが挙げられます。

## 1万口当たりの費用明細

(2023年2月28日～2024年2月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	159 ( 94 ) ( 62 ) ( 3 )	1.953 (1.152) (0.768) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  委託した資金の運用の対価  交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価  運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	5 ( 5 )	0.061 (0.061)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	3 ( 3 )	0.041 (0.041)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	3 ( 2 ) ( 1 ) ( 0 )	0.040 (0.028) (0.011) (0.001)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用です。 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用です。  信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	170	2.095	
期中の平均基準価額は、8,137円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

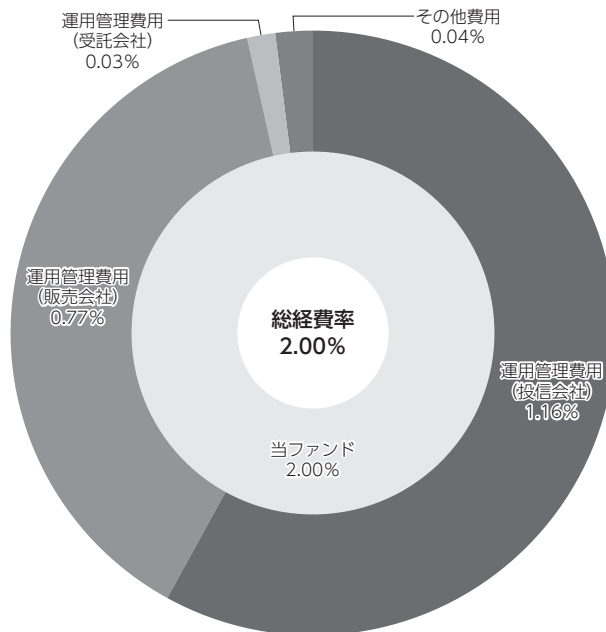
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.00%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

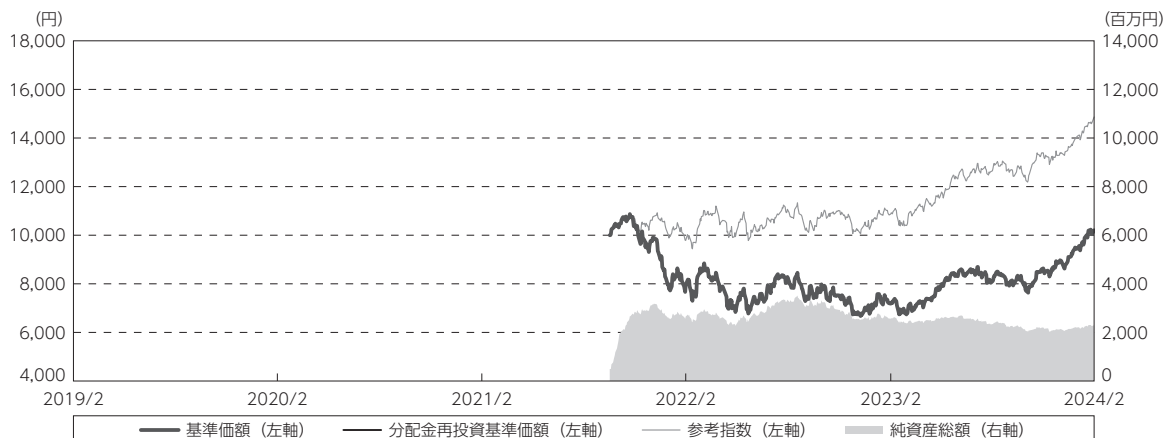
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年2月25日～2024年2月26日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 当ファンドの設定日は2021年10月13日です。  
 (注) 参考指数は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2021年10月13日 設定日	2022年2月25日 決算日	2023年2月27日 決算日	2024年2月26日 決算日
基準価額 (円)	10,000	7,950	7,183	10,204
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 20.5	△ 9.6	42.1
参考指数騰落率 (%)	—	△ 2.1	11.1	36.7
純資産総額 (百万円)	494	2,655	2,566	2,296

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2022年2月25日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当ファンドの設定日の前営業日を10,000として指数化しています(ただし設定日の前営業日は当日のMSCIを使用)。当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を使用しています。

**投資環境**

(2023年2月28日～2024年2月26日)

当期の海外株式市場は、当初は米国銀行の相次ぐ破綻やクレディ・スイス・グループの経営不安などが嫌気され軟調に推移しましたが、2023年5月以降は米国における大手テクノロジー企業の好決算などを受け堅調に推移しました。8月以降は米国における金融引き締め懸念の高まりや中東情勢の緊迫化などが嫌気され軟調地合いが続きましたが、10月末以降は雇用や物価の落ち着きなどから利下げ観測が高まったことから反騰に転じ、更に半導体受託生産の世界大手企業がAI(人工知能)関連の強い需要を背景に堅調な業績見通しを示したことや、注目されていた米大手半導体企業の決算が市場予想を上回ったことを受けて一段と上昇しました。

期首は、パウエルFRB議長の議会証言がタカ派的であったことや、米国銀行の相次ぐ破綻、クレディ・スイス・グループの経営不安などが嫌気され、海外株式市場は下落しました。しかしながら米国における大手テクノロジー企業の好決算や、底堅い経済指標の発表が相次いだ一方でインフレ指標が減速を示したことなどが好感され、海外株式市場は堅調地合いを維持しました。2023年8月に入ると米国における金融引き締め懸念の高まりや中東情勢の緊迫化などから再度軟調地合いに転じましたが、10月末にかけて予想を上回る企業決算の発表や金融引き締め長期化観測の後退などを受けて、株式市場は上昇に転じました。年末にかけては雇用統計が労働市場の底堅さを示す一方、更なる金融引き締めを懸念させる内容ではなかったことや、FOMC(米連邦公開市場委員会)で政策金利が据え置かれ、参加者による金利・経済見通しが利上げの終了と2024年末までの0.75%の利下げを示唆したことなどを受けて上昇基調を強め、更に2024年の年明け以降は半導体受託生産の世界大手企業がAI関連の強い需要を背景に堅調な業績見通しを示したことや、注目されていた米大手半導体企業の決算が市場予想を上回ったことを受けて一段と上昇して当期末を迎えました。

当期末の海外株式市場は結局、期首比で上昇しました。地域別では、米国市場の上昇が相対的に大きく、エマージング市場、欧州市場は出遅れる展開となりました。

為替市場では、円は対米ドル、対ユーロともに円安となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年2月28日～2024年2月26日)

主要投資対象であるWCM セレクト グローバル グロース株式マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券に投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドは主として日本を含む世界各国の株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して、運用を行います。グローバル成長株運用等において評価の高い米国の運用会社であるWCMインベストメント・マネジメント・エルエルシー(以下「WCM社」)に運用を委託しています。

期首に保有していた銘柄のうち当期中に全売却したものは以下のとおりです。これらはWCM社の運用哲学に合致しなくなったか、もしくはポートフォリオの価値を高めるより魅力的な銘柄を組入れるために売却したものです。

銘柄	投資国	業種
C S X	アメリカ	運輸
オールド・ドミニオン・フレイト・ライン	アメリカ	運輸
ズームインフォ・テクノロジーズ	アメリカ	メディア・娯楽
デクスコム	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス
ザルトリウス・ステディム・バイオテック	フランス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
アンフェノール	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ビル・ホールディングス	アメリカ	ソフトウェア・サービス
ヴィーヴァ・システムズ	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス
エラスティック	アメリカ	ソフトウェア・サービス
ペイコム・ソフトウェア	アメリカ	商業・専門サービス
スノーフレーク	アメリカ	ソフトウェア・サービス
MTUエアロ・エンジンズ	ドイツ	資本財
ノバンタ	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
デカルト・システムズ・グループ	カナダ	ソフトウェア・サービス

(注) 業種はGICS(世界産業分類基準)に基づくものです(以下同じです)。

一方、当期に新規に組入れを行った主な銘柄と概要は以下のとおりです。

銘柄、投資国、業種	概要
サブ スウェーデン 資本財	航空機や指揮統制システムなど先端商品の開発、技術サービスの提供などを行っています。
テトラ・テック アメリカ 商業・専門サービス	水、環境、インフラ、資源管理等の分野でコンサルティングサービスを提供しています。
ショックウェーブ・メディカル アメリカ ヘルスケア機器・サービス	石灰化プラークを治療するための血管内碎石技術の開発・製品化に従事しています。
アリストネットワークス アメリカ テクノロジー・ハードウェアおよび機器	大規模インターネット企業向けにクラウドネットワーク製品の開発・販売を行っています。
サイア アメリカ 運輸	小売、石油化学、製造業などの業種向けに中短距離トラック輸送を展開しています。
モーディン・マニュファクチャリング アメリカ 自動車・自動車部品	熱伝導・蓄熱テクノロジー製品やシステムの開発・製造・販売を行っています。
ウーシー・アプテック 香港 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	新薬の研究開発、生産及び関連技術プラットフォームの提供に従事しています。
イルミナ アメリカ 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	遺伝的変異及び生体機能の大規模解析を行うための統合システムの開発・製造を行っています。
3 i グループ イギリス 金融サービス	プライベート・エクイティやインフラ事業に特化したファンドを中心に運用を行っています。
ワイズ イギリス 金融サービス	インターネット上で手数料を抑えた国際送金サービスを提供しています。
ヌー・ホールディングス アメリカ ソフトウェア・サービス	ブラジル・サンパウロを拠点とし、デジタルバンキングプラットフォームを提供しています。
マンデードットコム アメリカ ソフトウェア・サービス	業務をオンラインで一元管理し、目標を効率的に達成できるプラットフォームを提供しています。
アップラビン アメリカ ソフトウェア・サービス	モバイルゲーム開発者向けにマーケティングを支援するアプリを提供しています。
アトラシアン アメリカ ソフトウェア・サービス	ソフトウェア開発者を対象とした法人向けソフトウェアを開発しています。
セレスティカ アメリカ テクノロジー・ハードウェアおよび機器	資本財やテクノロジー関連企業向けの各種製造受託サービスを提供しています。



## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年2月28日～2024年2月26日)

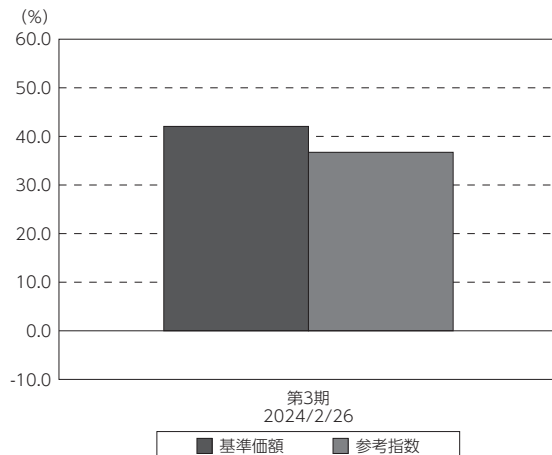
当ファンドは運用の目標となるベンチマークはありません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が36.7%上昇したのに対し、基準価額は42.1%の上昇となり、参考指数を5.3%上回る結果となりました。個別銘柄選択効果がプラスに働いたことがプラスの乖離要因となりました。

個別銘柄では、期中から新規購入した銘柄を含め、ウーシー・アプテック(香港、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)などがマイナスに寄与しましたが、アマゾン・ドット・コム(アメリカ、一般消費財・サービス流通・小売り)、データドッグ(アメリカ、ソフトウェア・サービス)、アゼンタ(アメリカ、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)、アドバンスト・マイクロ・デバイス(アメリカ、半導体・半導体製造装置)、インテグリス(アメリカ、半導体・半導体製造装置)などがプラスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



- (注) 基準価額の騰落率は分配金込み(税込み)です。
- (注) 参考指数は、MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当ファンドの設定日の前営業日を10,000として指数化しています(ただし設定日の前営業日は当日のMSCIを使用)。当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を使用しています。

## 分配金

(2023年2月28日～2024年2月26日)

当期の分配金につきましては、収益分配方針に基づき、基準価額水準などを勘案して、見送らせていただきました。

なお、収益分配にあらず信託財産内に留保した利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第3期
	2023年2月28日～ 2024年2月26日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	721

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

マザーファンドへの投資により、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。マザーファンドの運用委託先のWCM社では引き続き、独自のファンダメンタルズ調査に基づき、持続的かつ強化される参入障壁やそれを下支えする強固な企業文化を有する企業を探し出して投資を行います。WCM社の運用チームは短期的な各種のイベントに起因する相場変動のリスクやそれらが世界経済にもたらす影響について注視しつつも、長期的かつ持続的な成長を遂げることが可能と判断した確信度の高い銘柄に厳選投資し、ポートフォリオの運用を続けて参ります。また、足元の相場環境に囚われることなく、地域やグローバル、あるいは各業界で次世代のリーダーとなる企業を発掘、厳選することによって、長期的に優良なパフォーマンスを実現することが可能であると考えています。

## お知らせ

当ファンド及びマザーファンドの約款において、新NISA(成長投資枠)の要件対応等のため、デリバティブ取引の利用をヘッジ目的に限定する等の変更を行いました。加えて、当ファンドにおいて、信託期間終了日を無期限に変更しました。(2023年11月25日)

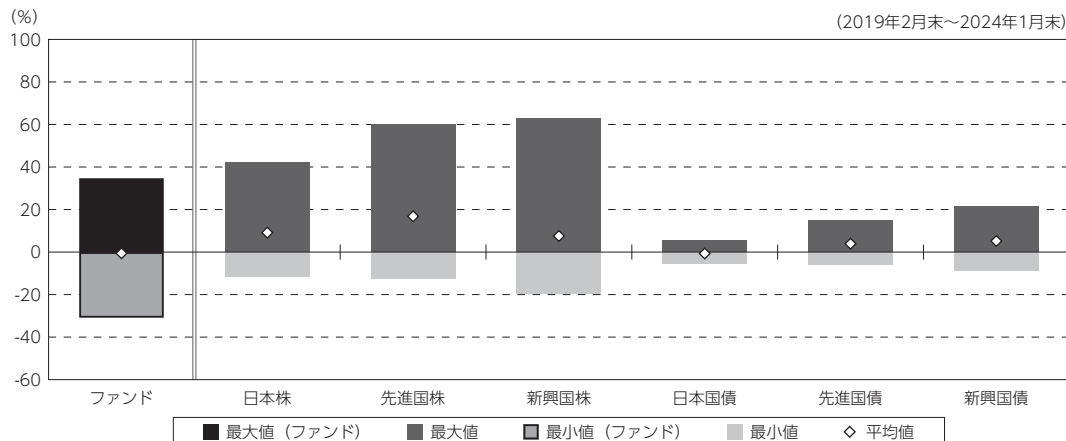
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	無期限	
運用方針	主として日本を含む世界各国の株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、原則として、日本企業への投資にあたっては、ADRを利用します。	
主要投資対象	WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)	WCM セレクト グローバル グロース株式マザーファンド受益証券
	WCM セレクト グローバル グロース株式マザーファンド	日本を含む世界各国の株式
運用方法	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。グローバル成長株運用等において評価の高い米国の運用会社であるWCMインベストメント・マネジメント・エルエルシーに運用を委託しています。対円での為替ヘッジは、原則として行いません。	
分配方針	年1回(2月25日、休業日の場合は翌営業日)に、配当等収益および売買益などのうちから、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。収益分配金額の決定にあたっては、複利効果による信託財産の成長を目指すため、原則として分配を極力抑制する方針とします(基準価額水準、市況動向等によって変更する場合があります)。	

WCM 世界成長株厳選ファンドは、(資産成長型)と(予想分配金提示型)の2つのファンドからご選択いただくことができ、各ファンド間でのスイッチングが可能です。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチングを行う場合の申込手数料は、販売会社が定めています。また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。詳しくは販売会社にご確認ください。

## (参考情報)

## ○ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	34.7	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
最小値	△ 30.9	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 0.6	9.1	16.8	7.6	△ 0.7	3.9	5.2

グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年2月から2024年1月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、ファンドについては設定日が2021年10月13日であるため2022年10月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2024年2月26日現在)

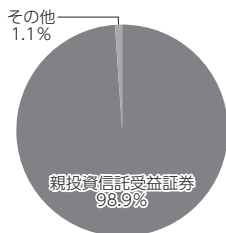
## ○組入上位ファンド

銘 柄 名	第3期末
WCM セレクト グローバル グロース株式マザーファンド	98.9 %
組入銘柄数	1銘柄

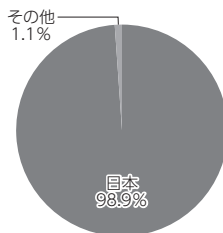
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

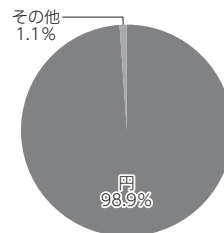
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

## 純資産等

項 目	第3期末	
	2024年2月26日	
純 資 産 総 額	2,296,327,109円	
受 益 権 総 口 数	2,250,359,764口	
1万口当たり基準価額	10,204円	

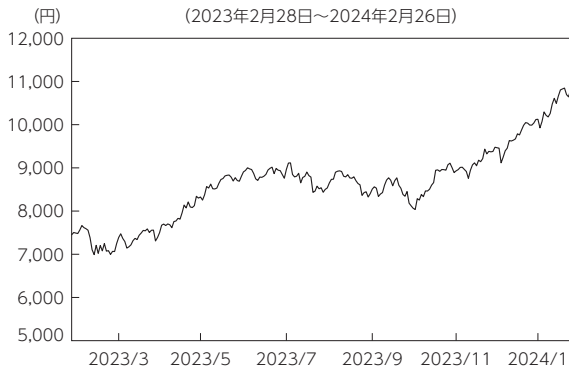
(注) 期中における追加設定元本額は96,575,186円、同解約元本額は1,418,397,869円です。

## 組入上位ファンドの概要

## WCM セレクト グローバル グロース株式マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2023年2月28日～2024年2月26日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2023年2月28日～2024年2月26日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	5 (5)	0.063 (0.063)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	4 (4)	0.044 (0.044)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)	0.030 (0.030) (0.000)
合 計	12	0.137

期中の平均基準価額は、8,534円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

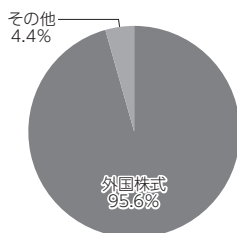
## 【組入上位10銘柄】

(2024年2月26日現在)

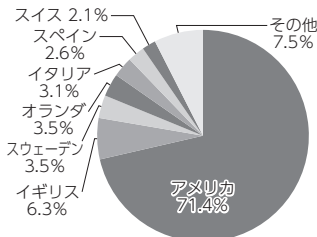
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	米ドル	アメリカ	6.8
2	AZENTA INC	医薬品・バイオテクノロジー/ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	6.5
3	TETRA TECH INC	商業・専門サービス	米ドル	アメリカ	5.3
4	DATADOG INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.7
5	3I GROUP PLC	金融サービス	英ポンド	イギリス	4.0
6	SHOCKWAVE MEDICAL INC	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	アメリカ	4.0
7	APPROVIN CORP	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.5
8	CELESTICA INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	3.5
9	SAAB AB	資本財	スウェーデンクローナ	スウェーデン	3.5
10	ADYEN NV	金融サービス	ユーロ	オランダ	3.5
組入銘柄数				31銘柄	

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

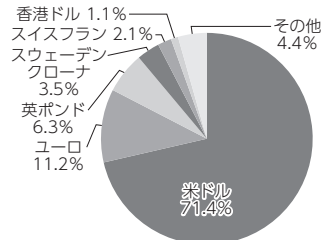
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。